

# 4 家庭や地域との連携を図った取組の推進

食に関する問題は、家庭が中心になって担うものですが、学校と家庭・地域が連携を図って指導を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせることができます。

家庭や地域との連携を大切に、互いに情報を交換しながら取り組みましょう。

## 実践例



### 授業公開の取組

学級活動「よくかんで食べよう」の授業参観。参観している保護者も、授業に参加している。



### お弁当の日の取組

- ①完璧コース →自分で食材を買って調理／すべてを作る
- ②ピストロコース→自分で調理／すべてを作る
- ③お進めコース →教わりながら一緒に作る
- ④腕自慢コース →おにぎり、おかずなど1品以上作る
- ⑤基本コース →作ってもらったものを自分で詰める
- ⑥感謝コース →はしだけ用意して、作ってもらった人に“ありがとう”という



### ふれあい給食の取組

ランチルームで給食試食会を開く。教員によるミニコンサートを開き、和やかな雰囲気を演出している。



### 料理教室の開催

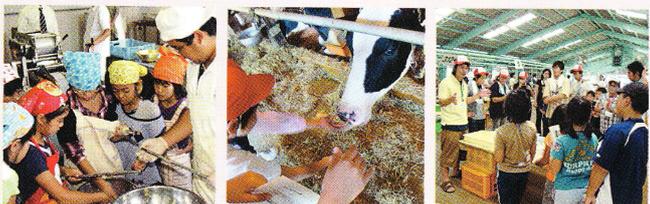
保護者から募集した手作りおやつを、保護者と児童と一緒に調理する。

### 学校での取組を家庭に伝える通信の発行



### PTAによる活動

写真左：学校・家庭・地域が一体となった健康教室  
写真右：保護者の計画・運営による「カミカミおやつ研究会」



### 地域における食に関する取組にふれる活動

写真左：地域の高校でのちくわ作り体験 写真中央：牛舎見学  
写真右：食農体験(4Hクラブの方からのお話)

### 朝食本の配布

保護者と連携して朝食本作成し、各家庭に配布する。



- ・朝食の効能
- ・上天草はやか、うまか朝食レシピ
- ・朝食お悩み相談室
- ・学校給食よりおすすめレシピ
- ・スペシャルデーの朝ごはん
- ・朝食アイデアテクニック
- ・上天草家庭食育10か条